

学位論文申請要領

(課程を経ない者(乙)用)

 杏林大学大学院

医学研究科

目次

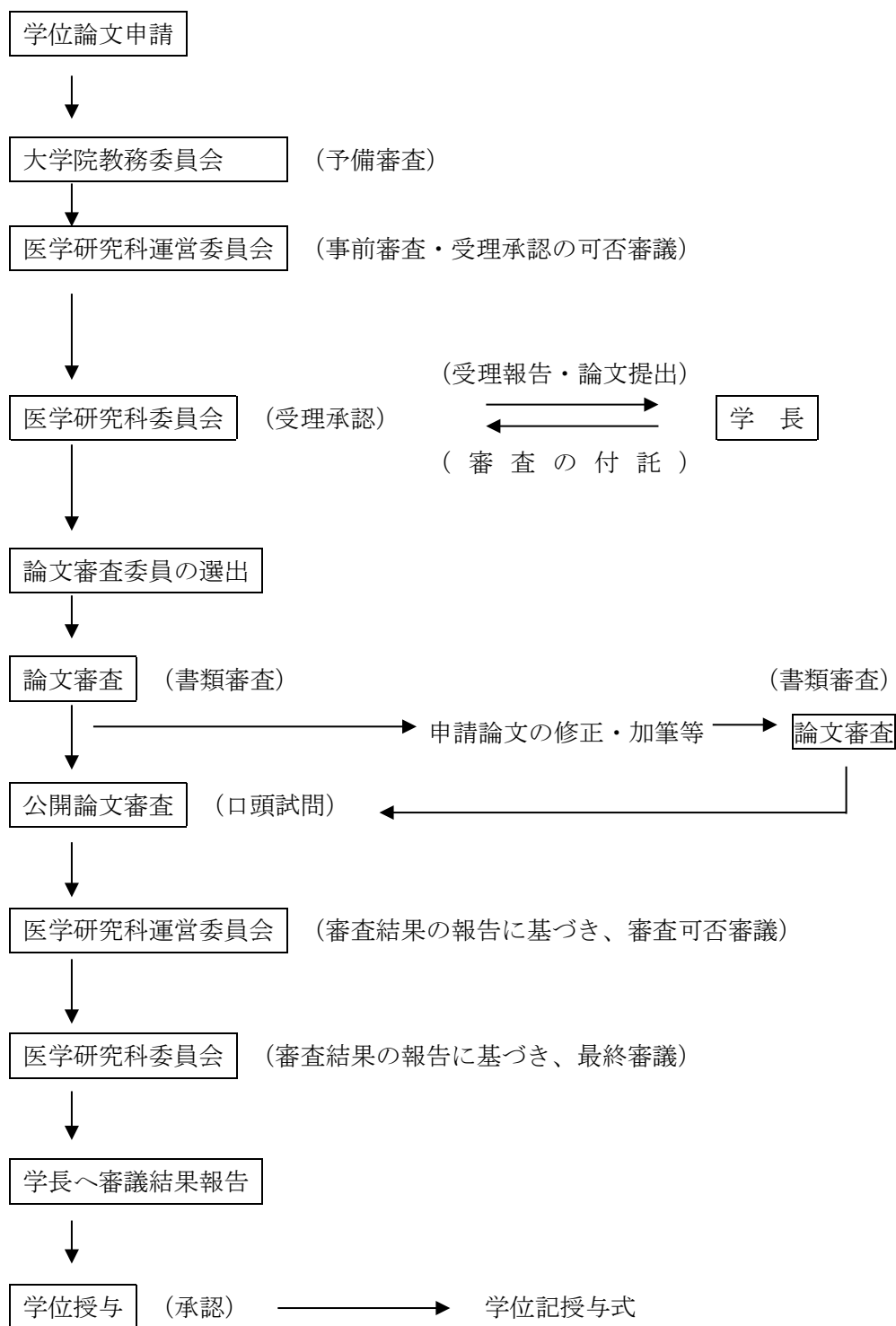
1. 学位授与までの流れについて	2
2. 学位申請について	3
3. 提出書類について	3
4. 提出先	4
5. 提出書類の作成要領	4
6. 学位論文提出期限	7
7. 論文審査手数料	7
8. 論文審査手数料の振込先	7
9. 学位論文の作成について	8
10. 学位論文審査基準	9
11. 学位論文審査について	10
12. 学位論文（最終版）の提出について	13
13. 論文要旨及び論文審査結果要旨の公表について	13
14. 学位記授与式	13
15. 通報・相談窓口	13
医師国家試験合格年月日	14
様式・作成例等	15

個人情報の取り扱いについて

- * 本学では〈個人情報の保護に関する法律（法律第 57 号）〉を遵守し、個人情報の適正な取り扱い、及び安全管理のために必要な措置を講じています。
- * 学位申請手続にあたって提出された個人情報は、これらに付随する必要な業務において使用させていただきます。
- * 本学が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合や秘密保持契約等の契約を締結した業者に業務委託する場合以外に、本人の承諾無しに第三者へ開示・提供することはありません。

1. 学位授与までの流れについて

学位申請から授与までの過程は下図のとおり。



2. 学位申請について

研究科の博士課程を経ない者（乙）が学位論文の申請を行う場合、次の要件を満たしていなければならない。

- ・ 次の①～⑥に該当する医学研究歴を6年以上有する者。
- ・ 本学が実施する外国語試験に合格した者。
- ・ 提出する【主論文】は査読制度のある極めて優れた学術雑誌に印刷公表されたもの又は掲載証明書が添付されたものでなければならない。

（医学研究歴）

- ① 大学の専任教育職員として研究に従事した期間
- ② 大学等の附属病院において医員、専攻医、研修医等として研究に従事した期間
- ③ 大学院に在学した期間
- ④ 研究生として在学した期間
- ⑤ 権威ある研究施設において専任職員として研究に従事した期間
- ⑥ 医学研究科運営委員会が前各号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

3. 提出書類について

(1) 提出書類

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 学位申請書（様式1） | 1通 |
| 2. 学位論文（THESIS） | 10部及び電子データ |
| 3. 図表 | 10部及び電子データ |
| 4. 主論文 | 10部 |
| 5. 副論文（1編以上） | 各10部 |
| 6. 論文目録（様式2） | 10部 |
| 7. 学位論文要旨（様式3） | 10部及び電子データ |
| 8. 履歴書（様式4） | 10部 |
| 9. 学位申請論文に関するチェックリスト | 1通 |
| 10. 写真（6×4cm、半身脱帽、3ヶ月以内のもの） | 2枚 |
| 11. 戸籍抄本（3ヶ月以内のもの） | 1通 |
| 外国人にあつてはこれに準ずるもの | |
| 12. 承諾書（様式6）*（共著者1名につき1部） | 共著者全員分 |
| 13. 推薦書（学位論文申請）（様式7） | 1通 |
| 14. 論文審査委員候補者推薦（様式10） | 1通 |
| 15. 提出書類のチェックリスト | 1通 |
| 16. 封筒（角2サイズ） | 30枚 |
| 17. 論文審査手数料払込控（銀行発行） | 1通 |

註1) 書類は全て縦A4版、片面、横書きとする。

註2) * は、場合によって提出が必要となるもの。

註3) 電子データは、まとめて1つの電子媒体（CD、USB）又は、Eメールで提出する。

(2) 学位申請に際しては、必ず指導教授の内諾を得ること。

4. 提出先

- (1) 提出にあたり、医学部事務課大学院・学位申請係に申請者本人が直接持参し、提出する。
やむを得ない事情により、代理人が提出する場合又は、郵送での提出を希望する場合には、予め大学院・学位申請係までその旨を連絡すること。
- (2) 受付は、月曜日から金曜日の午前9時30分から11時30分まで及び、午後13時30分から17時までとする。但し、大学の事情により受付を休止することもあるので、大学院・学位申請係まで確認すること。
- (3) 申請書類の事前確認（論文目録、学位論文要旨、履歴書等）を希望する場合は、遅くとも提出予定日の1週間前までに、Eメールにて提出予定の書類を送付し、事前確認を希望する旨を申し出ること。
- (4) 論文審査手数料は、書類を提出後の事前審査において受理承認可となった場合に、担当者から振込期限（医学研究科委員会開催日の前日）について連絡がある。指定期日までに速やかに振込み手続きを行い【論文審査手数料払込控】を期限までに提出すること。
- (5) 提出先
医学部事務課 大学院・学位申請係（医学資料情報センター棟1階）
〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
TEL 0422-47-5511（内線 3211）
FAX 0422-44-1858
E-Mail gakui-med@ks.kyorin-u.ac.jp

5. 提出書類の作成要領

- (1) 学位申請書（様式1）
 - ① 日付は、申請日（提出日）とする。
 - ② 申請者の記名押印をする。
- (2) 学位論文（THESIS）
 - ① 提出する学位論文（THESIS）の主要部分が既に査読制度のある極めて優れた学術雑誌に公表されたもの、又はその掲載証明書又は学術雑誌からの「受理」を伝えるメールの写しが添付されたものでなければならない。
 - ② 作成要領は、「9. 学位論文の作成について」を参照すること。
 - ③ 邦文、英文どちらで作成しても構わない。
 - ④ 研究題目が英文の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
 - ⑤ 学位論文（THESIS）は原則単著とする。学位論文取扱内規第4条第2項に基づき、共著論文は審議のうえ、受理を認めることがある。この場合、申請者が筆頭著者であることを原則とする。
※承諾書については、(12)を参照すること。
- (3) 図表
 - ① 図表は学位論文とは別綴じで提出すること。
 - ② 作成要領は、「9. 学位論文の作成について」を参照すること。なお、図表はペ

ージ番号・行番号は不要とする。

(4) 主論文

- ① 提出する学位論文（THISIS）の主要部分が査読制度のある学術雑誌に公表されたものの別刷又は写しを提出すること。

(5) 副論文

- ① 申請者が主著者となっている原著論文で、かつ査読制度のある学術雑誌に公表された論文とする。
- ② ケースレポート2編を副論文1編とすることも可能。
- ③ 申請する学位論文との関係の有無は問わない。

(6) 論文目録（様式2）

- ① 研究題目は学位論文の題目と一致させる。英文の場合は和訳を括弧で付記する。
- ② 主論文・副論文の研究題目は別に記載し、提出する別刷等と完全一致（大文字、小文字、半角全角、記号、スペース、下付き数字、上付き数字、和訳等含）させる。
- ③ 作成については、(註)を参照すること。
- ④ 片面1枚に収まるように作成する。

(7) 学位論文要旨（様式3）

- ① 邦文1,000字以内で作成する（英文不可）。
- ② 研究題目が英文の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
- ③ 研究題目の記載を完全一致（大文字、小文字、半角全角、記号、スペース、下付き数字、上付き数字、和訳等含）させる。
- ④ 氏名・所属欄には杏林大学における所属・職位を記載する。
- ⑤ 片面1枚に収まるように作成する。

(8) 履歴書（様式4）

- ① 学位記に表記する氏名と生年月日は、履歴書及び戸籍抄本の記載に基づき作成する。
- ② 提出部数全てに記名押印する。
- ③ 生年月日は和暦で記載する。但し、外国籍の場合は西暦表記で記載する。
- ④ 学歴は、高等学校卒業以降、年次を追って記載する。
- ⑤ 医師国家試験合格日及び医籍を記載する。医籍登録日と医師国家試験合格日は異なるため、14ページの医師国家試験合格年月日を確認して記載すること。
- ⑥ 学歴、研究歴、職歴は、それぞれの事項毎に記載する。職歴と研究歴に重なる期間があったとしてもそれぞれ記載すること。
- ⑦ 職歴の期間は断絶することがないように記載する。
- ⑧ 本学付属病院へ勤務してからの経歴（年月日、職名等）が不確かな場合は、病院庶務課へ問い合わせること。
- ⑨ 賞罰がない場合には、“なし”と記載する。
- ⑩ 日付は、申請日（提出日）とする。
- ⑪ 片面1枚に収まるように作成する。

(9) 学位申請論文に関するチェックリスト

- ① チェックリストおよび添付文書「書き上げ論文について」を確認し、内容を満たしている項目にチェック (☑) をつけること。全ての項目を確認後、申請者・指導教授署名の上で提出すること。
- ② 該当しない項目がある場合は斜線 (☒) をつけること。
- ③ 必要に応じてチェックリストに記載されている書類を提出すること。

(10) 写真

- ① サイズは 6×4cm で 3 ヶ月以内に撮影したもの。
- ② 半身脱帽。

(11) 戸籍抄本 (戸籍の個人事項証明)

- ① 学位記に表記する氏名と生年月日は、履歴書及び戸籍抄本の記載に基づき作成する。
- ② 3 ヶ月以内に取得したもの。
- ③ 外国人にあつてはこれに準ずるもの。

(12) 承諾書 (様式 6)

- ① 主論文に共著者がいる場合、提出すること。
- ② 署名 (自署/サイン) の場合、押印不要とする。
- ③ 記名の場合は、押印する。
- ④ 共著者が外国在住であっても承諾書の提出は必須である。FAX や PDF 等の写しは認められない。原本を提出すること。
- ⑤ 共著者が故人の場合は承諾書の提出は不要とする。

(13) 推薦書 (様式 7)

- ① 指導教授推薦書は、次の内容を含み詳細に記載すること。
 - a. 医学博士として、ふさわしい人柄かどうか。
 - b. 学位申請論文で申請者が主に担当した部分を含め、学位論文としての推薦内容について。
 - c. 今までの研究歴及び、主な研究指導者名を含め、特に強調すべき推奨事項等。

(14) 提出書類のチェックリスト

- ① 提出する書類等をチェック (☑) し、申請者氏名及び連絡先を記載する。
- ② 本リストと併せて、提出書類等を提出すること。

(15) 封筒

- ① 角形 2 号 (A4 版の用紙が入る大きさ) を 30 枚提出する。
- ② 学位申請書類等の送付等、審査の過程において使用する。
- ③ クラフト封筒、茶封筒等で可。また、テープ付きでなくとも構わない。

(16) 論文審査手数料払込控

- ① 「1. 学位授与までの流れについて」の事前審査 (医学研究科運営委員会) において、受理承認について審議を行い、結果は担当者から通知する。
- ② 受理承認可となった場合、医学研究科委員会開催日の前日までに払込みをすること。

- ③ 金融機関発行の払込控（写し）を貼付して提出する。なお、払込控（原本）は各自保管とする。
- ④ インターネットバンキングの場合、振込明細照会等の確認画面を印刷したものを貼付すること。

6. 学位論文提出期限

提出期限	大学院教務委員会 (予備審査)	医学研究科運営委員会 (事前審査)	医学研究科委員会 (受理承認)
4月6日(水)	4月20日(水)	5月11日(水)	5月18日(水)
5月2日(月)	5月18日(水)	6月8日(水)	6月15日(水)
6月1日(水)	6月15日(水)	7月13日(水)	7月20日(水)
7月6日(水)	7月20日(水)	9月14日(水)	9月21日(水)
9月7日(水)	9月21日(水)	10月12日(水)	10月19日(水)
10月5日(水)	10月19日(水)	11月9日(水)	11月16日(水)
11月2日(水)	11月16日(水)	12月14日(水)	12月21日(水)
12月7日(水)	12月21日(水)	1月11日(水)	1月18日(水)
1月4日(水)	1月18日(水)	2月8日(水)	2月15日(水)
1月31日(火)	2月15日(水)	3月1日(水)	3月8日(水)
2月22日(水)	3月8日(水)	4月(未定)	4月(未定)

※ 8月は、医学研究科運営委員会及び、医学研究科委員会は開催なし。

7. 論文審査手数料

	申請者区分	審査手数料
学内者	本学専任教育職員（助教以上）・医員	500,000円
	臨床専修医	750,000円
	非常勤講師	1,000,000円
	医学研究生（在籍3年以上6年未満）	1,000,000円
	医学研究生（在籍6年以上）	500,000円
学外者（持込論文）		2,000,000円

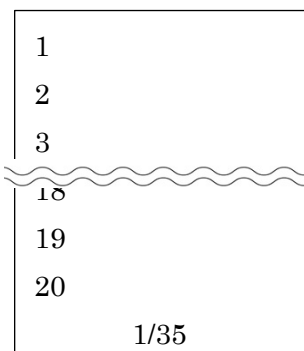
8. 論文審査手数料の振込先

振込銀行 三菱UFJ銀行 西荻窪支店
 口座番号 普通預金 0504701
 口座名義 キョウリンダイガクイガクブ 杏林大学医学部

※振込手続は、前述 6. 学位論文提出期限にあるとおり、**事前審査を行った後に**振込手続を行い、**論文審査手数料払込控を提出すること。**

9. 学位論文の作成について

申請する学位論文は、次の要領で作成すること。
申請する学位論文の主たる内容を公表した論文は
主論文として別刷またはコピーを提出すること。

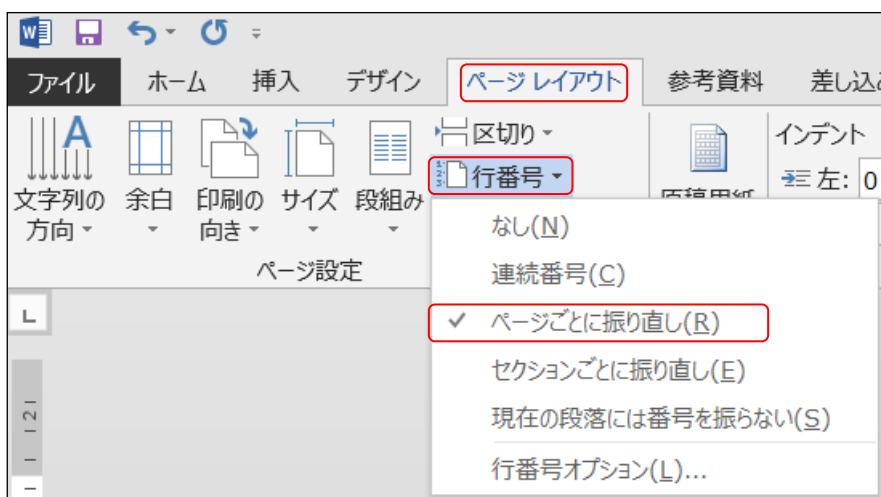


- (1) 原稿は可能な限りMicrosoft Officeによる。
用紙はすべて縦A4判，40字×20行で作成する。
英文の原稿はダブルスペースとし，
TimesまたはTimes New Roman〔14ポイント〕， Courier またはCourier New〔12ポイント〕を使用する。また，原稿には頁を付与し、片面印刷とする。
邦文の原稿は特にフォントの指定はしない。

【原稿の作成について】

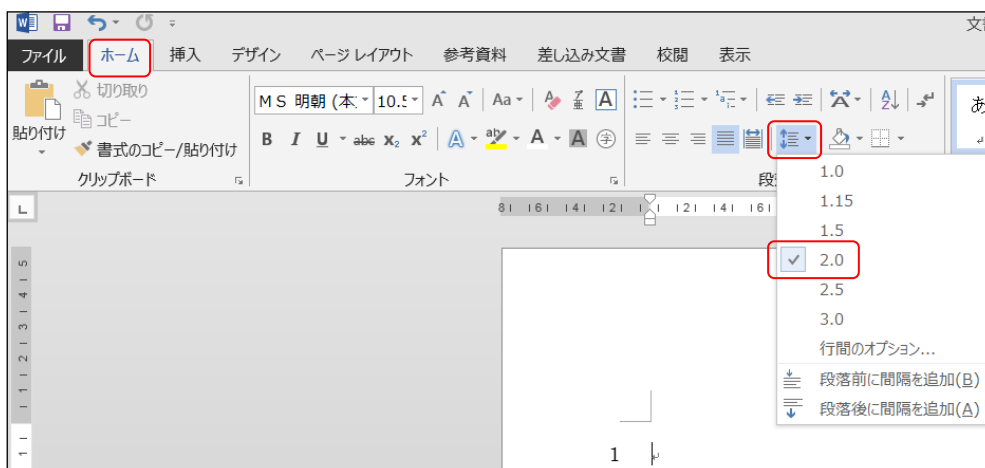
- ・行番号を付ける

[ページレイアウト] の [行番号] から
[ページごとに振り直し] に✓する。



- ・ダブルスペースにする

[ホーム] の [段落] グループから、
[行と段落の間隔] をクリックし、 [2.0] を選択する。



- (2) 原稿は標題 (Title) , 要旨 (Summary) , 本文 (Text) , 引用文献 (References) , 図説明文 (Figure Legends) , 英文抄録 (Summary in English) の順序とし、ホチキスで綴じること。図 (Figures) ・表 (Tables) は別に綴じる。学位論文と図表は各 10 部提出すること。なお、英文論文の場合は邦文要旨を記載すること。
- (3) 第1頁は、標題 (Title) として、研究題目・杏林大学における所属 (教室、診療科等) ・職位・著者氏名 (共著者がある場合は共著者氏名) ・発表学会名及び開催年月日・掲載誌、巻、号及び発行年月日 (予定を含む) を記載する。
- (4) 第2頁は、要旨 (Summary) を概ね250-400字で記入する。論文が英文の場合、要旨は邦文で作成する。
- (5) 第3頁以降に本文 (Text) を記入する。
 1. 本文は、原則として緒言 (Introduction) , 材料と方法 (Materials & Methods) , 結果 (Results) , 考察 (Discussion) , 結論 (Conclusion) の順序とする。
 2. 略語は、初回は正式名を用いた後に括弧に入れて記入し、2回目以後からはそのまま使用してもよい。
- (6) 引用文献 (References) は下記の要領で記入する。
 1. 引用は本文中に片カッコ付きで上付けした引用番号順に記載する。
 2. 雑誌の場合、著者 (全員) : 題名、雑誌名、巻:頁一頁、発行年の順で記載する。
なお、外国雑誌名は「List of Journals in Index Medicus」, 国内雑誌名は「医学中央雑誌収載誌目録」に準拠した略誌名とする。
- (7) 図説明文 (Figure Legends) は英文で作成し、まとめて記載する。
図には短い表題を付ける。
(論文が邦文の場合、図説明文 (Figure Legends) も邦文で構わない)
- (8) 図 (Figures) は図毎にA4判で作成する。図やグラフの作成は掲載論文を参照して作成する。
- (9) 表 (Tables) は表毎にA4判で作成する。表題は表の上に、脚注は表の下に作成する。
- (10) 英文抄録 (Summary in English) には以下を記載し、抄録本文は概ね400words以内とする。
 1. 英文標題
 2. 著者名
 3. 所属
 4. 抄録
- (11) 英文内容についてはネイティブスピーカーの校閲を受けることが望ましい。
- (12) 上記の内容以外のことについては、杏林医学会雑誌投稿規程に準じる。

10. 学位論文審査基準

(1) 学位論文審査要領

学位論文取扱内規第 5 条(7)学位論文審査委員会は別に定める審査基準により審査する。

1. 甲乙いずれも既に印刷公表されているかに係わらず、学位申請論文の審査のための、書き上げ論文 (THESIS) を提出する。

2. 論文審査は、書き上げ論文に対して行なう。
3. 論文審査委員会の指示があれば、その評価及びコメントに従って訂正・改善を行い再提出する。
4. 既に印刷公表されている場合は、書き上げ論文に別刷りを添えて提出する。

(2) 学位論文審査基準

審査項目

論文審査

1. 研究課題の背景の明確性・課題設定の妥当性
2. 研究の方法論の妥当性（実験方法及びデータ処理法含む）
3. 結果の表現・表示（図表等）の適切性
4. 結果に関する考察の適切性
5. 先行研究との関連についての考察の適切性
6. 全体を通じた論旨の展開の適切性
7. 文章表現の妥当性
8. 研究の独創性
9. 倫理面での適切性

試問及び最終試験

10. 論文のプレゼンテーションが適切に行われたか
11. 論文内容についての質疑に適切に対応できたか
12. 論文に関連した内容も含め、当該専門領域に関する試問に適切に答えられたか

上記の各項目をふまえて総合評価を行う

評価（1～5の5段階評価）

- 5：秀逸である
- 4：優れている
- 3：概ね妥当
- 2：大幅な改善が必要
- 1：根本的な改善が必要、不適

合格の基準

- ◇ 論文審査・試問及び最終試験の全ての項目で3以上、総合評価で4以上となること。

11. 学位論文審査について

(1) 論文審査委員

- ・ 論文審査委員は5名を原則とし、医学研究科委員会において指名される。
- ・ そのうち1名は主査として審査委員会の取りまとめを行う。

- ・ 指導教授及び、指導教授と同教室の教員は審査委員となることはできない。
- ・ 共著者及び謝辞に掲載されている教員は審査委員となることはできない。
- ・ 審査のため必要がある医学研究科委員会が認めたときは、学外審査委員を審査委員会の委員として加えることができる。
- ・ 審査に関わる教員等は、法令その他本学が定める諸規程を遵守することはもとより、高い倫理観と社会的良識を持って、公正かつ誠実な職務の遂行を行うこととする。
- ・ 学位申請者及び研究題目並びに論文審査委員名は公表する。

(2) 論文審査委員会

- ・ 論文審査委員 5 名が、学位論文審査基準（1. (2)学位論文審査基準）により審査を行う。
- ・ 審査の結果は、主査が取りまとめ 1-2 週間以内に学位申請係を通して申請者へ通知する。
- ・ 審査委員会からの指示があれば、その評価及びコメントに従って訂正・改善を行い再提出すること。
- ・ 全審査委員が論文審査に関する全ての評価項目及び総合評価で 3 以上と判断した場合、公開論文審査会（試問及び最終試験）を実施する。

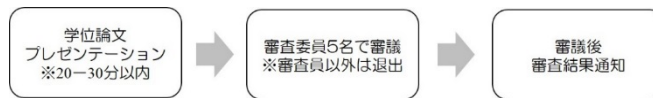
(3) 再提出

- ・ 再提出にあたっては次のとおりとする。
 - 提出先：医学部事務課（医学資料情報センター棟 1 階）学位申請係
 - 提出書類：①論文要旨（様式 3）
 - ②学位論文（修正版）
 - ③学位論文（訂正及び追加等の変更履歴が分かるもの）
 - ④回答書（審査委員からのコメントに対し一問一答で作成）
 - ※②及び③は、「9. 学位論文の作成について」(2)を参照
 - 提出部数：各 6 部
 - 提出期限：主査より提出期限の指示があれば、それまでに提出すること。
特に指示がない場合には、可能な限り速やかに再提出すること。

(4) 公開論文発表会（試問及び最終試験）

- ・ 学位論文のプレゼンテーションを 20-30 分以内で行う。但し、事前に主査より発表時間の指示があった場合は、指示された時間内で行う。
- ・ プレゼンテーションは、PowerPoint, Keynote 等を用い、学位論文の内容として、当該研究を行うに至った背景、考察等及び、審査委員から発表会において説明を求められた内容等についてスライドを作成すること。
- ・ スライドの枚数制限は特に設けない。
- ・ 当該研究内容を専門分野としないものにも分かるようにプレゼンテーションを行うこと。
- ・ プレゼンテーション（20-30 分以内）に引き続き、質疑応答と試問を行った後、

審査委員が審議を行う。結果は本人に通知する。(プレゼンテーションから結果通知まで1時間程度。)



- ・ 開催にあたっては、開催通知を掲示するとともに、医学研究科ホームページにおいて公表する。
- ・ 論文審査及び公開論文発表会（試問及び最終試験）の結果をふまえ、全審査委員が全ての評価項目で3以上、総合評価で4以上と判断すれば、論文審査委員による審査は合格とする

(5) 審査結果の報告

- ・ 論文審査を終了した場合、主査は、学位論文審査結果要旨(様式5)を作成し、副査4名の確認のうえ、医学研究科委員会に報告する。

(6) 合否の決定

- ・ 医学研究科委員会は杏林大学学位規程第14条及び15条に基づき合否を決定し、第16条に基づき学長に結果を報告する。

(7) 審査期間

- ・ 論文審査は、医学研究科委員会において受理承認後、できるだけすみやかに終了しなければならない。但し、特別の理由があるときは、その期間を1年以内に限り延長することができる。

【規程抜粋】 杏林大学学位規程

(審査委員の報告)

第14条 審査委員は論文の審査、試験及び試問を終了したときは、直ちに論文審査の要旨、試験及び試問の結果の要旨並びに成績を文書で当該研究科委員会に報告しなければならない

(研究科委員会の審議)

第15条 前条の報告を受けた研究科委員会は審議のうえ、学位を授与すべきか否かを議決する。

2 前項の審議を行うための研究科委員会は、海外出張中又は休職中の者を除き研究科委員会委員の3分の2以上の出席を必要とする。

3 第1項の議決をするには、出席委員の3分の2以上の同意を必要とする。

(学長への審議結果の報告)

第16条 前条の研究科委員会の審議結果を、研究科長は、文書により学長に報告しなければならない。

12. 学位論文（最終版）の提出について

論文審査及び最終試験終了後、提出論文の内容の訂正又は追加の指摘をうけたときは修正後の論文、論文要旨並びに論文目録を指導教授及び学位論文審査委員会主査の校閲終了後に電子データ（PDFおよびWord）を提出すること。

13. 論文要旨及び論文審査結果要旨の公表について

杏林医学会雑誌において掲載する。

14. 学位記授与式

前期学位記授与式は9月、後期学位記授与式は3月で行う（三鷹キャンパス）。

15. 通報・相談窓口

通報窓口：審査に係る不正等の本学内外からの通報（告発）受付
大学事務部（内線3272～3274）

相談窓口：審査に係る相談窓口

医学部事務課教務係（大学院担当）（内線3211）

医師国家試験合格年月日

回数	合格年月日
第61回	S51. 05. 07
第62回	S51. 10. 29
第63回	S52. 04. 27
第64回	S52. 10. 27
第65回	S53. 05. 02
第66回	S53. 10. 25
第67回	S54. 05. 01
第68回	S54. 10. 22
第69回	S55. 05. 01
第70回	S55. 10. 23
第71回	S56. 05. 01
第72回	S56. 10. 31
第73回	S57. 05. 08
第74回	S57. 10. 30
第75回	S58. 05. 07
第76回	S58. 11. 05
第77回	S59. 05. 10
第78回	S59. 10. 30
第79回	S60. 05. 08
第80回	S61. 05. 07

回数	合格年月日
第81回	S62. 05. 07
第82回	S63. 05. 06
第83回	H01. 05. 10
第84回	H02. 05. 09
第85回	H03. 05. 07
第86回	H04. 05. 06
第87回	H05. 04. 16
第88回	H06. 04. 15
第89回	H07. 04. 14
第90回	H08. 04. 12
第91回	H09. 04. 11
第92回	H10. 04. 22
第93回	H11. 04. 22
第94回	H12. 04. 20
第95回	H13. 04. 26
第96回	H14. 04. 25
第97回	H15. 04. 24
第98回	H16. 04. 22
第99回	H17. 03. 30
第100回	H18. 03. 29

回数	合格年月日
第101回	H19. 03. 29
第102回	H20. 03. 28
第103回	H21. 03. 27
第104回	H22. 03. 29
第105回	H23. 03. 18
第106回	H24. 03. 19
第107回	H25. 03. 19
第108回	H26. 03. 18
第109回	H27. 03. 18
第110回	H28. 03. 18
第111回	H29. 03. 17
第112回	H30. 03. 19
第113回	H31. 03. 18
第114回	R02. 03. 16
第115回	R03. 03. 16
第116回	
第117回	
第118回	
第119回	
第120回	

学位申請者 各位

学位取得に伴う金銭の授受等について

文部科学省から平成20年3月19日付け19文科高第854号「大学における厳正な学位審査体制の確立について」ならびに平成21年5月12日付け21文科高第6121号「大学における厳正な学位審査体制等の確立の徹底について」として、「学位審査に関連して審査委員が収賄罪により起訴された事件や学位取得に伴い金銭の授受があった事実が明らかになる不祥事がありました。学位の国際的な通用性・信頼性の確保がこれまで以上に求められている状況において、このような不祥事があったことは、学位の国際的な通用性・信頼性を損なうことにもなりかねず、極めて重大な問題です。」と通知がありました。 昨今、社会的にも問題になっておりますので、学位審査に関わって不明朗な金品の授受等のなき様、御注意願います。

平成21年5月18日

様式 1 作成例

令和 年 月 日

杏 林 大 学 長 殿

申請者氏名 甲野 乙太郎 

学 位 申 請 書

貴学学位規程第9条第1項の規定により、論文に論文要旨、履歴書及び所定の論文審査手数料を添えて博士（医学）の学位の授与を申請いたします。

論文目録

氏名 甲野 乙太郎

学位論文 免疫学的・・・抗原に関する研究

著者氏名 甲野 乙太郎

主論文

1) 甲野乙太郎、春野花子、大海太郎

免疫学的・・・抗原に関する研究

杏林医学会雑誌 33巻1号：115～130. 2009年

第23回〇〇学会総会発表 2008年

副論文

1) 甲野乙太郎、春野花子、大海太郎

特異的抗・・・血清に関する研究

日本〇科学会雑誌70(2)：112～125. 2006年

(註)

- 1 主論文及び副論文の題名は公表した表題と一字一句違わないように注意する。
- 2 論文題名が外国語の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
- 3 主論文に共著者がある場合は共著者氏名も記載し、記載順序は発表論文記載と同じにする。本学以外の他大学・病院等の著者は「その他」として省略する。
- 4 学会発表又は公表している場合は、発表学会名及び開催年月日、掲載誌、巻、号、及び発行年月日（予定を含む。）を記載すること。
- 5 発表誌の記入要領は、著者（全員）：題名，雑誌名，巻：頁-頁，発行年の順で記載する。外国雑誌名は「List of Journals in Index Medicus」、国内雑誌名は「医学中央雑誌収載誌目録」に準じる。

学位論文要旨

研究題目	免疫学的・・・抗原に関する研究
著者氏名（所属名）	甲野 乙太郎（医学部〇〇学教室 助教）
掲載誌	杏林医学会雑誌 33巻1号：115～130. 2009年

論文要旨（1,000字以内）

（註）

- 1 学位論文題名は公表した表題と一字一句違わないように注意する。
- 2 論文題名が英文の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
- 3 要旨は邦文1,000字以内とし、本様式1枚にまとめること。
- 4 英文論文の場合でも、要旨は邦文で作成すること。

履 歴 書

ふりがな	この おつたろう	性別
氏名	甲野 乙太郎 印	男
生年月日	昭和51年 4月 1日	
本籍地	東京都三鷹市新川6丁目20番2号	
現住所	〒181-8611 東京都三鷹市新川6丁目20番2号 電話番号 0422-47-5511	

学 歴		
平成 6年 3月	東京都立西多摩高等学校	卒業
平成 6年 4月	杏林大学医学部	入学
平成 12年 3月	杏林大学医学部	卒業
医師国家試験及び医籍		
平成 12年 4月 20日	第 94 回	医師国家試験 合格
平成 12年 5月 10日	医籍登録第 123456 号	
研究歴		
平成 12年 5月	杏林大学医学部内科学教室において研究に従事した。	
平成 17年 4月	米国 ○○ School of Medicine Research fellow として基礎研究に従事した。	
平成 18年 4月	杏林大学医学部内科学教室において研究に従事し、現在に至る。	
職 歴		
平成 12年 5月	杏林大学医学部附属病院 臨床研修 (2年間)	
平成 14年 5月	杏林大学医学部附属病院 ○○教室 臨床専攻医 ○○医療センター ○○科 医員 [H15.5-H17.3] 米国 ○○ School of Medicine Research fellow [H17.4-H18.3]	
平成 18年 4月	杏林大学医学部非常勤臨床助手 ○○教室勤務	
平成 18年 10月	杏林大学医学部助手 (任期制) ○○教室勤務	
平成 19年 4月	杏林大学医学部助教 (任期制) 名称変更 ○○教室勤務	
平成 21年 4月	杏林大学医学部助教 ○○教室勤務 現在に至る。	
賞 罰		
平成 19年 12月	○○学会 ○○○奨励賞	

令和 年 月 日

(註)

- 1 職歴の期間は断絶することがないように記入すること。
- 2 助教は、助教と任期制の別を記入すること。

学位申請論文に関するチェックリスト

提出する学位申請論文が以下の必要項目を満たしているか確認し、申請者および指導教授署名の上で提出してください。

	チェック項目
<input type="checkbox"/>	3年以内に倫理教育を受けました。 ^{※1}
<input type="checkbox"/>	人を対象とする研究の場合、研究内容は倫理委員会の承認を受け、研究責任者または研究分担者として学位申請者の名前が入っています。 ^{※2} 動物を対象とする研究の場合、実験を行った研究機関の動物実験の規定を遵守しました。
<input type="checkbox"/>	研究活動の不正行為への対応のガイドラインを遵守しました。 (https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/06082316.htm)
<input type="checkbox"/>	研究ノート、(該当する場合は)CRF(症例報告書)は記載し、保管しています。
<input type="checkbox"/>	International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE)が策定した オーサーシップのガイドラインを遵守しました。(http://www.icmje.org/)
<input type="checkbox"/>	学位申請論文(THISIS)は単著となっています。 (主論文 ^{※3} に共著者がいる場合)共著者リストを作成し共著者からの同意書を受け取っています。
<input type="checkbox"/>	利益相反に関する事項を開示し、必要に応じて審査を受けています。
<input type="checkbox"/>	審査を受ける論文は、別添「書き上げ論文について」の要件を満たした書き上げ論文です。
<input type="checkbox"/>	【甲論文該当者】学位授与後1年以内に論文全文を学内リポジトリ等で公表する必要があることを承知しています。 ^{※4} やむを得ない事情により掲載を希望しない場合は理由を添えてその旨を申し出ます。
<input type="checkbox"/>	【乙論文該当者】提出した学位申請論文が学内リポジトリに掲載されることを了承します。

※1 倫理教育の修了書を添付すること。

※2 倫理委員会の承認通知書および研究倫理審査申請書(研究責任者・分担者が分かるもの)を添付すること

※3 「主論文」とは既に学術雑誌等に公表されている論文を指します。

※4 学術雑誌等への投稿前に学内リポジトリに全文を掲載すると、論文公表済みとみなされる可能性があります。その場合、学術雑誌等への投稿が不可となる可能性がありますので注意してください。

上記の内容に虚偽はありません。学位授与後に上記の内容に虚偽が判明した場合、学位取り消しとなる可能性があることを理解しています。

年 月 日

申請者署名 _____

学位論文の最終稿を確認し、上記の内容に虚偽がないことを確認しました。

また、学位論文の内容に責任を負うことを理解しています。

指導教授署名 _____

(作成例)※主論文に共著者がいる場合のみ作成

年 月 日

共著者リスト

学位申請者氏名 _____

共著者の Contribution について、以下のとおり申告します。

【A. 各共著者がいずれかを満たすべき項目】※共著者が担当した事項を1つ以上選択する

- ①研究の構想
- ②研究の計画
- ③研究データの収集
- ④研究データの分析、解釈
- ⑤その他（備考欄に内容を記載すること）

【B. 共著者全員が満たすべき項目】

- ⑥研究の草稿の作成、もしくは批判的な修正を行った
- ⑦論文の掲載直前の版に対する最終的な承認を行った
- ⑧研究のすべての側面に責任を負うことに同意した

名前	所属	A(1つ以上を選択)					B(全員必須)		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
杏林 太郎	●●教室	○					○	○	○
○○ ××	△△大学 □□教室			○	○		○	○	○

【備考】

様式6 作成例

承 諾 書

論文題目：免疫学的・・・・・・・・抗原に関する研究

研究者名：甲野 乙太郎 大海 太郎 春野 花子

(※著者全員の氏名を記入のこと。英文論文の場合、英文表記で構わない。)

上記論文を、甲野 乙太郎 が学位論文として提出することを承諾いたします。
なお、私は本論文を学位申請のための学位論文として使用することはありません。

所 属

共著者 _____

(※自署であれば、押印不要)

令和 年 月 日

様式7 作成例

令和 年 月 日

医学研究科長 殿

指導教授 印

推 薦 書 (学位論文申請)

所属・職名 ○○学 助教
氏 名 甲野 乙太郎

(註)

推薦書は、下記の内容を含んで、なるべく詳細に記入すること。

- 1 医学博士として、ふさわしい人柄かどうか
- 2 学位申請論文としての推薦内容について
(学位申請論文で申請者が主に担当した部分について含むこと)
- 3 特に強調すべき推奨事項
(今までの研究歴及び、主な研究指導者名を含むこと)

令和 年 月 日

医学研究科長 殿

所 属 小児科学
指 導 教 授 印

論文審査委員候補者推薦

下記のとおり、 甲野 乙太郎 の学位申請について論文審査委員候補者を推薦致します。

記

所属・氏名 外科学 ○○ ○○先生

所属・氏名 解剖学 ○○ ○○先生

所属・氏名 小児科学 ○○ ○○先生

(註)

ご推薦頂きました候補者が承認されない場合もございますのでご了承ください。

候補者の推薦にあたっては、医学部専任教員（教授・臨床教授・研究教授）の中から

- ①臨床系 2 名、基礎系 1 名を推薦する。
- ②共著者及び謝辞に掲載されている先生を推薦することはできない。
- ③指導教授と同教室の先生を推薦することはできない。

論文審査手数料払込控

払込控（写し）を貼付して下さい

※事前審査受理審議後に本用紙のみを提出すること。

医学部事務課 学位申請係 御中

学位論文の申請として、下記の書類を提出いたします。

- | | | |
|--------------------------|----------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 学位申請書（様式 1） | 1 通 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 学位論文（THESIS）※紙媒体 | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 学位論文（THESIS）※データファイル | 1 式 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 図表 | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 図表 ※データファイル | 1 式 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 主論文（印刷公表されている場合）* | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 掲載証明書又は受理メール 写し（未公表の場合） | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 8. 副論文（1 編以上） | 各 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 9. 論文目録（様式 2） | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 10. 学位論文要旨（様式 3）※紙媒体 | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 11. 学位論文要旨（様式 3）※データファイル | 1 式 |
| <input type="checkbox"/> | 12. 履歴書（様式 4） | 10 部 |
| <input type="checkbox"/> | 13. 学位申請論文に関するチェックリスト | 1 通 |
| <input type="checkbox"/> | 14. 写真（6×4 cm） | 2 枚 |
| <input type="checkbox"/> | 15. 戸籍抄本（3 ヶ月以内のもの） | 1 通 |
| <input type="checkbox"/> | 16. 承諾書（様式 6）* | 共著者全員分 |
| <input type="checkbox"/> | 17. 指導教授推薦書（様式 7） | 1 通 |
| <input type="checkbox"/> | 18. 論文審査委員候補者推薦（様式 10） | 1 通 |
| <input type="checkbox"/> | 19. 封筒 | 30 枚 |
| <input type="checkbox"/> | 20. 論文審査手数料払込控（受理審議後に提出） | 1 通 |

（※ 提出書類には☑をすること。）

註 1) 書類は全て縦 A 4 版、片面、横書きとする。

註 2) * は、場合によって提出が必要となるもの。

註 3) 電子データは、まとめて 1 つの電子媒体（CD、USB）又は、E メールで提出する。

学位論文申請者名 _____

日 中 の 連 絡 先 電話（内線・携帯など）： _____

FAX : _____

メールアドレス： _____